

工 事 成 績 評 定 書

契 約 番 号				工事担当課			
工 事 名				契約年月日			
工 事 場 所				工 期	着工		
受注者名	名称				完成		
	代表者名			完成年月日			
現場代理人氏名				検査年月日			
主任・監理技術者氏名				契約金額	当初	円	
工事種別					変更	円	

総 合 評 定	監督員×0.4	総括監督員×0.2	検査員×0.4	法令遵守等	総 合 評 定 点
	点	点	点	点	点

考 査 項 目		配 分			監 督 員					総括監督員					検 査 員							
項 目	細 別	監督員	総括監督員	検査員	a	b	c	d	e	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	
1 施工体制	(1) 施工体制一般	+1.0	—	—	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	(2) 配置技術者	+3.0	—	—	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
2 施工状況	(1) 施工管理	+4.0	—	+5.0	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	—	—	—	—	—	+5.0	—	+2.5	—	0	-7.5	-15	
	(2) 工程管理	+4.0	+2.0	—	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0	+1.0	0	-7.5	-15	—	—	—	—	—	—	—	
	(3) 安全対策	+5.0	+3.0	—	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0	+1.5	0	-7.5	-15	—	—	—	—	—	—	—	
	(4) 対外関係	+2.0	—	—	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3 出来形及び出来ばえ	(1) 出来形	+4.0	—	+10.0	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0	—	—	—	—	—	+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	
	(2) 品質	+5.0	—	+15.0	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0	—	—	—	—	—	+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	(3) 出来ばえ	—	—	+5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+5.0	—	+2.5	—	0	-5.0	—	
4 工事特性	※加点評価0～+20	—	+20.0	—	—		—						—		—					—		
5 創意工夫	※加点評価0～+7	+7.0	—	—			—		—		—		—		—					—		
6 社会性等	※加点評価0～+10	—	+10.0	—	—		—						—		—					—		
加減点合計	1+2+3+4+5+6	+35.0	+35.0	+35.0	—				—				—		—							
基準点	基準点65±	65	65	65	—		65		—		65		—					65				
評 定 点		100	100	100	合 計		65.0		合 計		65.0		合 計					65.0				
7 法令遵守等	※減点評価0～-20	—		—	—		—		—		0		—					—				

評 定 者	職 名	氏 名	所 見
検 査 員			
総括監督員			
監 督 員			

工事成績評定の考査項目別運用表

□土木工事

採点者	考査項目	細別	工種等	考査表	備考
監督員	1 施工体制	Ⅰ 施工体制一般		監1－1	
		Ⅱ 配置技術者(現場代理人等)			
	2 施工状況	Ⅰ 施工管理		監1－2(1)	
		Ⅱ 工程管理			
		Ⅲ 安全対策		監1－2(2)	
		Ⅳ 対外関係			
	3 出来形及び出来ばえ	Ⅰ 出来形		監1－3 監1－3(2)・・・機械設備工 監1－3(3)・・・電気設備工	
		Ⅱ 品質			
5 創意工夫	Ⅰ 創意工夫		監1－4		
総括監督員	2 施工状況	Ⅱ 工程管理		総1－1	
		Ⅲ 安全管理			
	4 工事特性	Ⅰ 施工条件等への対応		総1－2	
	6 社会性等			総1－3	
	7 法令遵守等			総1－4	
検査員	2 施工状況	Ⅰ 施工管理		検1－1 検1－1(2)・・・機械設備工 検1－1(3)・・・電気設備工	
	3 出来形及び出来ばえ	Ⅰ 出来形			
		Ⅱ 品質 Ⅲ 出来ばえ	道路改良工事	検1－2	
			コンクリート構造物	検1－3	
			コンクリート二次製品	検1－4	
			下水道工事	検1－5	
			舗装工事	検1－6	
			水道工事	検1－7	
			土木維持修繕工事	検1－8	
			植栽工事	検1－9	
			防護柵工事	検1－10	
			標識設置工事	検1－11	
			区画線工事	検1－12	
			塗装工事	検1－13	
			コンクリート橋工事	検1－14	
			鋼橋工事	検1－15	
			法面工事	検1－16	
			ほ場整備工事	検1－17	
			暗渠排水工事	検1－18	
			用排水路工事	検1－19	
			オーバーレイ工事	検1－20	
			管路補修工事	検1－21	
			機械設備工事	検1－22	
			電気設備工事	検1－23	
			解体工事	検1－24	
			合併工事	検1－25	

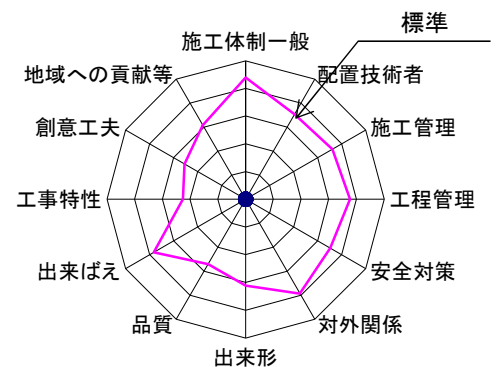
項目別評定点

契約番号：

工事名：

評 定 項 目	細 別	評定点／満点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	／ 3.3 点
	II. 配置技術者	／ 4.1 点
2. 施工状況	I. 施工管理	／ 13.0 点
	II. 工程管理	／ 8.1 点
	III. 安全対策	／ 8.8 点
	IV. 対外関係	／ 3.7 点
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	／ 14.9 点
	II. 品質	／ 17.4 点
	III. 出来ばえ	／ 8.5 点
4. 工事特性（加点のみ）	I. 施工条件等への対応	／ 7.3 点
5. 創意工夫（加点のみ）	I. 創意工夫	／ 5.7 点
6. 社会性等（加点のみ）	I. 地域への貢献等	／ 5.2 点
7. 法令遵守等（減点のみ）		点
評定点合計		／ 100.0 点

所見



契約番号：

工事成績採点の考査項目別運用表

[監1-1]

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切
1. 施工体制	I 施工体制一般	●評価対象項目						
	評価項目90%以上 ・・・a			施工体制一般に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった 上記該当項目あれば・・・e				
	評価項目80%以上 90%未満・・・b			施工体制一般に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d				
	評価項目60%以上 80%未満・・・c			「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない 施工計画書を、工事着手前に提出している 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している（下請契約がある場合）				
	評価項目60%未満 ・・・d			品質証明の時期・確認事項が工事全般にわたり、よく把握されている 元請けが下請の作業成果を検査している（下請契約がある場合） 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している 緊急指示、災害、事故等の発生した場合の対応が速やかである 現場に対する本店や支店による支援体制が整えている 工場製作期間における技術者を適切に配置している				
	評価対象項目 3項目以下・・・c			機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（規格値の設定や確認方法等）を整えている その他（理由： ）				
				評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）				
	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切
	II 配置技術者 （現場代理人等）	●評価対象項目						
	評価項目90%以上 ・・・a			配置技術者に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった 上記該当項目あれば・・・e				
	評価項目80%以上 90%未満・・・b			配置技術者に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った 上記該当項目あれば・・・d				
	評価項目60%以上 80%未満・・・c			【全体を評価する項目】 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項がない 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している				
	評価項目60%未満 ・・・d			【現場代理人を評価する項目】 現場代理人が、工事全体を把握している 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議するなどの必要な対応を行っている 監督員への報告を適時及び的確に行っている				
	評価対象項目 3項目以下・・・c			【監理（主任）技術者を評価する項目】 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している 契約書、設計図書、適用すべき諸基準等を理解し、施工に反映している 施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている 監理（主任）技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている その他（理由： ）				
				評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）				

考査項目	細別	評定
1. 施工体制	I. 施工体制一般	
	II. 配置技術者	

契約番号：
工 事 名：
施 工 者：
担 当 課：

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表

「監1-2(1)」

「記入方法」 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考查項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
2. 施工状況	Ⅰ 施工管理	●評価対象項目								
				施工管理に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった						
		評価項目90%以上 ・・・a			上記該当項目あれば・・・e					
				施工管理に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った						
		評価項目80%以上 90%未満・・・b			上記該当項目あれば・・・d					
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項がない						
				施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている						
				現場条件の変化に対して、適切に対応している						
		評価項目60%以上 80%未満・・・c			工事材料の品質に影響が無いよう保管している					
				日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている						
				日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている						
		評価項目60%未満 ・・・d			現場内の整理整頓を日常的に行っている					
				指定材料の品質証明書及び写真等を整理している						
				工事打合せ簿を、不足無く整理している						
	評価対象項目 3項目以下・・・c			建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている						
			工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している							
			その他（理由： ）							
				評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）						
	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e		
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切		
	Ⅱ 工程管理	●評価対象項目			工程管理に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった					
			評価項目90%以上 ・・・a			上記該当項目あれば・・・e				
					工程管理に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った					
			評価項目80%以上 90%未満・・・b			上記該当項目あれば・・・d				
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項がない						
				工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している						
				実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程管理をしている						
評価項目60%以上 80%未満・・・c					現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない					
				時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い						
				工事の進捗を早めるための取り組みを行っている						
評価項目60%未満 ・・・d					適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い					
				休日の確保を行っている（週休2日制工事は対象外）						
				計画工程以外の時間外作業がほとんど無い						
評価対象項目 3項目以下・・・c					その他（理由： ）					
			評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）							

考察項目	細別	評定
2. 施工状況	I. 施工管理	
	II. 工程管理	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a	b	c	d	e
				適切	ほぼ適切	他に該当なし	やや不適切	不適切
2. 施工状況	Ⅲ 安全対策	●評価対象項目						
				安全対策に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった。				
				上記該当項目あれば・・・e				
		評価項目90%以上 ・・・a		安全対策に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った。				
				上記該当項目あれば・・・d				
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項がない。または、指示事項に対する改善が速やかに（次回）実施された				
		評価項目80%以上 90%未満・・・b		災害防止協議会等を1回／月以上行っている				
				安全教育及び安全訓練等を半日／月以上実施している				
				新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している				
		評価項目60%以上 80%未満・・・c		工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった				
				過積載防止に取り組んでいる				
				仮設工の点検及び監理を、チェックリスト等を用いて実施している				
		評価項目60%未満 ・・・d		工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されていた				
				地下埋設物及び架空線等に関する事故防止策に取り組んでいる				
				その他（理由： ）				
	評価対象項目 3項目以下・・・c		評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）					
	Ⅳ 対外関係	●評価対象項目						
				対外関係に関して、監督員からの 文書による改善指示 に従わなかった				
				上記該当項目あれば・・・e				
		評価項目90%以上 ・・・a		対外関係に関して、監督員が 文書による改善指示 を行った				
				上記該当項目あれば・・・d				
				「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項がない。または、指示事項に対する改善が速やかに（次回）実施された				
		評価項目80%以上 90%未満・・・b		関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生が無い				
				地元との調整を行い、トラブルの発生がない				
				第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている				
評価項目60%以上 80%未満・・・c			関係工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる					
			工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している					
			その他（理由： ）					
評価項目60%未満 ・・・d								
評価対象項目 3項目以下・・・c		評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）						

考査項目	細別	評価
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	
	Ⅳ. 対外関係	

[記入方法] 該当する項目の枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
				ばらつきが50%以内	ばらつきが80%以内	a及びbに該当なし	不適切	不適合	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅰ 出来形	●評価対象項目							
			出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 5 0 %以内である						
			上記該当項目あれば・・・a						
			出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 8 0 %以内である						
			上記該当項目あれば・・・b						
			出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、a、bに該当しない						
			上記該当項目あれば・・・c						
			出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った						
			上記該当項目あれば・・・d						
			評価対象とした工程（最大3工程）		契約書第 1 7 条に基づき改造請求を行った				
			上記該当項目あれば・・・e						
	①	① 出来形の評定は、工事全般を通して評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ※ばらつき判断は別紙「出来形のばらつき考え方」を参照							
	②								
	③								
	理由欄:								
		細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e
					ばらつきが50%以内	ばらつきが80%以内	a及びbに該当なし	不適切	不適合
	Ⅱ 品質	●評価対象項目							
		品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 5 0 %以内である							
		上記該当項目あれば・・・a							
		品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね 8 0 %以内である							
		上記該当項目あれば・・・b							
		品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、規格値を満足し、a、bに該当しない							
		上記該当項目あれば・・・c							
		品質の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った							
		上記該当項目あれば・・・d							
		評価対象とした工程（最大3工程）		契約書第 1 7 条に基づき改造請求を行った					
		上記該当項目あれば・・・e							
①	① 品質の評定は、工事全般を通して評定するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ※ばらつき判断は別紙「品質のばらつき考え方」を参照								
②									
③									
理由欄:									

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅰ. 出来形	
	Ⅱ. 品質	

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表

[監1-4]

〔記入方法〕 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	創意工夫キーワード一覧表(創意工夫が多く見られるリスト)	
5. 創意工夫	Ⅰ 施工関係		施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫	
			コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫	
			土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫	
			部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫	
			設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫	
			給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫	
			照明などの視界の確保に関する工夫	
			仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫	
			運搬車両、施工機械等に関する工夫	
			支保工、型枠工、足場工、仮橋脚、覆工板、山留め等の仮設工に関係する工夫	
			盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫	
			施工計画書の作成、写真の管理等に関する工夫	
			出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫	
			ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れた工事（2点加算）	
			特殊工法や材料を用いた工事	
		優れた技術力又は能力として評価する技術を取り入れた工事		
	Ⅱ 週休2日		完全週休2日とした工事（2点加算）	
			4週8休現場閉所とした工事	
	Ⅲ 新技術活用		NETIS登録技術のうち試行技術を活用し、活用効果調査表を提出している（2点加算）	
			NETIS登録技術のうち活用した試行技術が「少実績優良技術」である場合又は発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上であった場合（2点加算）	
		※新技術の活用に 関する上記4項目 での加算は最大4 点とする。		NETIS評価情報技術のうち「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」を活用し、活用効果調査表を提出している（4点加算）
				NETIS登録技術のうち試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用した結果、発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合（4点加算）
	Ⅳ 品質関係		土工、設備、電気の品質向上に関する工夫	
			コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫	
			鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料で工夫が見られた	
			配筋・溶接作業等に関して工夫が見られた	
	Ⅴ 安全衛生関係		建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している（2点加算）	
			安全を確保するための仮設備等に関する工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入防護柵、手摺り、足場等）	
			安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫	
			現場事務所、労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫	
			有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び防塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫	
			一般車両突入時の被害軽減対策又は一般交通の安全確保に関する工夫	
			厳しい作業環境の改善に関する工夫	
			環境保全に関する工夫	
		Ⅵ その他		その他（理由： ）
			その他（理由： ）	
	その他（理由： ）			
		【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載		
	評価点： 点			

- ※ 1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※ 2. 評価は各項目において1つ〇が付されれば1、2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※ 3. 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
- ※ 4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他の具体的内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

[記入方法] 該当する項目の枠に○マークを記入する

考察項目	細 別	評価項目	a	b	c	d	e										
			優れている	やや優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている										
2. 施工状況	Ⅱ 工程管理	●評価対象項目	隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた その他（理由）：														
	●判断基準	上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。 <table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>工程管理がやや劣っている</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>工程管理が劣っている</td> </tr> </table>					a	工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）	b	工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）	c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）	d	工程管理がやや劣っている	e	工程管理が劣っている	
a	工程管理が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）																
b	工程管理がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）																
c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）																
d	工程管理がやや劣っている																
e	工程管理が劣っている																
	細 別	評価項目	a	b	c	d	e										
			優れている	やや優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている										
	Ⅲ 安全対策	●評価対象項目	建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ 安全対策に係る取り組みが地域から評価された その他（理由）：														
		●判断基準	上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e 評価を行う。 <table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）</td> </tr> <tr> <td>d</td> <td>安全対策がやや劣っている</td> </tr> <tr> <td>e</td> <td>安全対策が劣っている</td> </tr> </table>					a	安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）	b	安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）	c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）	d	安全対策がやや劣っている	e	安全対策が劣っている
a	安全対策が非常に優れている（目安：5項目程度以上評価）																
b	安全対策がやや優れている（目安：3項目程度以上評価）																
c	他の事項に該当しない（目安：1項目程度以上評価）																
d	安全対策がやや劣っている																
e	安全対策が劣っている																

考察項目	細別	評定
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	
	Ⅲ. 安全対策	

【記入方法】 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 工事特性	Ⅰ 施工条件等への対応	Ⅰ 構造物の特殊性への対応	1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事 2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 3. その他(理由:) ※ 上記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば 4点の加点 とする。	(1. について) ・切土・盛土工:5万m ³ 、護岸・築堤:H≥10m、砂防ダム:H≥15m、橋梁下部工:H≥15m ・堰・水門:Max径間長≥25m又は径間数≥3、連続プレートゲート橋:Max支間長≥40m以上 ・コンクリート連続桁橋:Max支間長≥30m、ラーメン橋・トラス橋・アーチ橋、トンネル開削工法:H≥10m ・トンネル:延長≥500m、林道:開設延長≥500m、下水:管路延長≥500m (2. について) ・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。 ・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。 ・許用中の道路トンネルの拡幅工事。 (3. について) ・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。 ・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。 ・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。
		Ⅱ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応	4. 地盤の変形、近接構造物、地下埋設物への影響に配慮する工事 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 8. 緊急時に対応が特に必要な工事 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 10. その他(理由:) ※ 上記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば 6点の加点 とする。	(4. について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。 ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。 (5. について) ・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策などの制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり、施工に特に厳しい制約を受けた工事。 (6. について) ・市街地での工事 及び DID地区でかつ住宅密集地での工事。 ・DID地区での夜間工事。 (7. について) ・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8. について) ・緊急時に作業があり、その作業の全てに対応した工事。 (9. について) ・作業現場が広範囲に分布している工事。 (10. について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		Ⅲ 厳しい自然・地盤条件への対応	11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きい工事 13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 15. その他(理由:) ※ 上記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば 4点の加点 とする。	(11. について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要がある工事。 (12. について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13. について) ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事、もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工を除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。
		Ⅳ 長期工事における安全確保への対応	16. 12ヶ月を超える工期で、事故もなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※ 但し、文書注意に至らない事故は除く。 17. その他(理由:) ※ 上記の対応事項に1つ以上 ○ が付けば 6点の加点 とする。	(14. について) ・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や工方法に制約を受けた工事。 (15. について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。
	評 価	評点： _____ 点		【工事特性のキーワードの評価】

※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
 ※2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。
 ※3. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

契約番号:

工事成績採点の考査項目別運用表

[総1-3]

[記入方法] 該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	適 用 事 例
6. 社会性等	Ⅰ 地域への貢献等		河川等の環境保全を具体的に実施した
			国立公園や県立公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ
			現場事務所や作業現場の整理・整頓・清掃が徹底しており、積極的に周辺地域との調和を図った
			地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等に積極的に参加し地域に貢献した
			現場内の住民に対する日常の挨拶等、積極的に地域とのコミュニケーションに務めていた
			災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した
	Ⅱ 週休2日		完全週休2日とした（2. 5点加点）
	Ⅲ 環境配慮		アイドリングストップや低振動、低騒音、排ガス対策型建設機械使用等、環境配慮に努めていた
			包装・梱包材の簡素化等ゴミの減量化に配慮していた
			省エネルギー型工事関連機器の使用に努めていた
			使用材料や仮設等の環境リスクの少ない建材や工法の採用に努めていた（間伐材の使用を含む）
			既存の自然・生態系へのダメージを最小化するよう努めていた
	Ⅳ その他		ISO14000Sを取得している
			ISO9000Sを取得し、本工事においてもその対象とした
			社内検査を行い、出来形、品質を担当者以外の者に確認し、書面にて報告がなされた
			過積載防止教育を行い、具体的な防止策の報告がなされた
	Ⅴ 特別考慮要因		
			評点： 点 ・社会性等については加点評価とする。 ・Ⅱ週休2日の項目以外は1項目1点とし、10点～0点の範囲とする。

[記入方法] 該当する項目の欄に○マークを記入する

考查項目	該当項目	法令遵守等の該当項目一覧表
7. 法令遵守等	措置内容	
		点 数
	指名停止3ヶ月以上	-20 点
	指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15 点
	指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13 点
	指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10 点
	文書注意	-8 点
	口頭注意	-5 点
	工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件、もらい事故や交通事故は含まない）	-3 点
	①本項目で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適応	
②「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する		
③「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、主任(監理)技術者、請負会社及び下請会社の従業員に限定する		
【上記で評価する場合の適応事例】		
・入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した		
・承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は継承を行った		
・宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された		
・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した		
・当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された		
・建設業に違反する事実が判明した 例)一括下請け、技術者の専任違反等		
・入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された		
・使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された		
・監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた、あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した		
・下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払い遅延や、あるいは不当に下請代金の額を減じている等の行為がある		
・過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された		
・受注企業の社員に「指定暴力団」等に所属する構成員等暴力団関係者がいることが判明した		
・下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した、あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した		
・安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした		
・施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった		
・その他(理由:		

考察項目	評価
6. 法令遵守	

契約番号：

工事成績採点の考査項目別運用表

[検1-1]

〔記入方法〕評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	b	c	d	e	
				優良	良好	他に該当なし	やや劣っている	劣っている	
2. 施工状況	I 施工管理	●評価対象項目							
				施工管理について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった					
		評価項目90%以上 ・・・a			上記該当項目あれば・・・e				
					施工管理について、監督員が文書による改善指示を行った				
		評価項目80%以上 90%未満・・・b			上記該当項目あれば・・・d				
					契約書18条第1項第1号から5号に基づく設計図書の照査を行っていることが確認できる				
		評価項目60%以上 80%未満・・・c			施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている				
					工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致している				
		評価項目60%未満 ・・・d			現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している				
					工事材料の品質に影響の無いように工事材料を管理していることが確認できる				
		評価対象項目 3項目以下・・・c			段階確認等の立会確認の手続きが事前に行っていることが確認できる				
					建設副産物の再利用、産業廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされている				
				施工体制台帳及び施工体系図を法令に沿った内容で的確に整備していることが確認できる（下請契約がある場合）					
				下請に対する引き取り（完成）検査を書面で実施していることが確認できる（下請契約がある場合）					
				品質証明体制が確立され、関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っている					
				工事の関係書類を不足なく簡潔に整理している					
				社内の管理基準等が作成され管理していた					
				品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる					
				建退共の証紙が適切に配布され管理されている雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適切に処理されている。					
				その他（理由： ）					
				評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）					

〔記入方法〕該当する項目は枠に○マークを記入する

考査項目	細 別	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e
			ばらつきが50%以内 4項目以上該当	ばらつきが50%以内 3項目以上該当	ばらつきが80%以内 3項目以上該当	ばらつきが80%以内 2項目以上該当	a～b'に該当なし	ばらつきが大きい	
3. 出来形及び出来ばえ	I 出来形	●評価対象項目							
			出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が 修補指示 を行った						
			上記該当項目あれば・・・e						
			出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が 指示 を行い 改善 された						
			上記該当項目あれば・・・d						
			出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね 50% 程度以内である						
			出来形が測定項目、測定基準及び規格値を満足し、ばらつきが規格値の概ね 80% 程度以内である						
			上記2項目の評価後、以下の6項目について評価のこと						
	評価対象とした工種 (最大3工種)		出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫している						
	①		出来形測定において不可視部分の出来形が写真で的確に判断出来る						
	②		写真管理基準の管理項目を満足している						
	③		出来形確認が、適切な時期に、適切な方法で行われている						
	注)工種は監督員と整合性を図る		出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理している						
			社内の管理基準に基づき管理している						
	理由欄:		その他（理由:)						
			※出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である ※出来形管理とは、管理基準の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である ※ばらつき判断は「記入方法及び留意事項」を参照						

考査項目	細別	評価
2. 施工状況	I. 施工管理	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【道路改良工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																																	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																							
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																							
				ばらつきで判断可能																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																							
				ばらつきで判断不可能																																							
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																							
				土工 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している																																							
				土工 段切り等が設計図書に基づき適切に行われている																																							
				土工 掘削を行うにあたり、過堀がなく掘削面以下を乱さないように施工している																																							
				土工 土質にあった締め固め密度管理が行われている																																							
				土工 構造物周辺の埋め戻し、締め固めが適切に施工されている																																							
				路盤 路床・路盤工のブルドーリングが行われている																																							
				路盤 路床の密度・支持力の管理が適切に行われている																																							
				路盤 路盤工の密度管理が適切に行われている																																							
				構造物 コンクリート構造物に、きめ細やかな施工がうかがえる																																							
				構造物 コンクリートの配合試験が行われ、規格（強度、スランプ等）が確認できる																																							
				構造物 コンクリート打設、パイプレータ、現場養生が適切に行われている																																							
				構造物 製品、部材に破損が見られない																																							
				構造物 構造物内に土砂、モルタル、材料等の断片がなく清掃されている																																							
				舗装 設計図書の基づく、適切なアスファルト混合物、コンクリートの規格の確認が出来る																																							
				舗装 混合物の温度管理が、出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている																																							
				その他 仕様書等で定められている品質管理が実施されている																																							
				その他 各種材料、製品等の品質規格証明書が整備されている																																							
				その他 気象条件に合わせた施工がなされ、温度管理等も適切に行われている																																							
				その他（ ）																																							
				評価値（ ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）																																							
				●判断基準																																							
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
				50%以下	80%以下	80%を超える																																					
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
			60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
			60%未満	b'	c	c	c																																				
				注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																							
			細 別	評価項目	a	b	c	d																																			
					仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																		
			Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																							
						土工の仕上げが良い																																					
						構造物の通りが良い																																					
						天端の仕上げ、端部仕上げ、目地等の仕上がりが良い																																					
						既設構造物等とのすりつけが良い																																					
				残土等の処理が適切に行われている																																							
				きめ細やかな施工がなされている																																							
				全体的な美観が良い																																							
	評価項目該当6項目以上・・・a																																										
	評価項目該当5項目・・・b																																										
	評価項目該当3、4項目程度・・・c																																										
	評価項目該当																																										

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【コンクリート構造物工事】

考査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																																			
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																											
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																									
				ばらつきで判断可能																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																									
				ばらつきで判断不可能																																									
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																									
				コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質（強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる																																									
				コンクリート受入時に必要な試験が実施しており、強度・スランプ・空気量等の測定結果が確認できる																																									
				コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる																																									
				施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固方法が定められた条件を満足している（寒中及び暑中コンクリート等を含む）																																									
				コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている																																									
				コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っている																																									
				鉄筋の品質が、証明書類（ミルシート等）で確認できる																																									
				コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる																																									
				鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様に満足している																																									
				圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている																																									
				コンクリートの養生が、設計図書の仕様に満足している																																									
				スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様に満足している																																									
				有害なクラックがない																																									
				その他（ ）																																									
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値（ ）%＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）																																									
				●判断基準																																									
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで 判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>60%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能			50%以下	60%以下	80%を超える		評 価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																						
				50%以下	60%以下	80%を超える																																							
	評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																							
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
60%以上75%未満		b	b'	c	c																																								
60%未満		b'	c	c	c																																								
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																											
	細 別	評価 項目		a	b	c	d																																						
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																					
Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																												
	評価項目該当 5項目以上・・・a			コンクリート構造物の表面状態が良い																																									
				コンクリート構造物の通りが良い																																									
				天端仕上げ、端部仕上げ等が良い																																									
				クラックがない																																									
				漏水がない																																									
				全体的な美観が良い																																									
評価項目該当 4項目・・・b																																													
評価項目該当 3項目程度・・・c																																													
評価項目該当																																													

考査項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【コンクリート構造物(二次製品)】

考査項目	細 別	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																								
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った																																							
			上記該当項目あれば・・・e																																							
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された																																							
			上記該当項目あれば・・・d																																							
			ばらつきで判断可能																																							
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																							
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																							
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																							
			ばらつきで判断不可能																																							
			上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																							
			[共通関係]																																							
			仕様書等で定められている品質管理が実施されている																																							
			材料の品質規格証明書等が整備されている																																							
			二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っている																																							
			製品に破損等がなく、又、補修痕がない																																							
			掘削床付面が平滑に仕上げられ、過堀がない																																							
			基礎砂利等の転圧は適切に行われている																																							
			[擁壁類（補強土擁壁は除く）]																																							
			裏込め材、胴込めコンクリートの充てんまたは締固めが十分で、間隙が生じていない																																							
			基礎コンクリート及び天場等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない																																							
			材料の連結又は、かみ合わせが適切である																																							
			端部における地山とのすりつけが適切である																																							
			丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意を払っている																																							
			[用排水施設]																																							
			位置、方向、高さ、勾配等について前後施設又は地形になじみ良く施工されている																																							
			呑口、吐口、集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない																																							
			不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部からの漏水も見られない																																							
			継目部に隙間、ズレがなく、目地モルタルが適切に施工されている																																							
			施設の流末は浸食、滞留等が生じないよう処理されている																																							
		製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている																																								
		評価項目該当3項目以下・・・c	評価値(%)＝評価数()／評価対象項目数() ●判断基準 <table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
			50%以下	80%以下	80%を超える																																					
	評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
		60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
		60%未満	b'	c	c	c																																				
		細 別	評価項目	a	b	c	d																																			
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																			
	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																								
			天端、端部など、施工の通りが適切に実施されている																																							
			クラックの発生がない																																							
			目地の幅が一定で、仕上げが丁寧に実施されている																																							
			製品の据え付けが適切に実施されている																																							
			飛散防止等が適切に施され汚れ等がない																																							
			屈折部等における現場施工が適切に処理されている																																							
	評価項目該当6項目以上・・・a		全体的な美観が良い																																							
	評価項目該当5項目・・・b																																									
	評価項目該当3、4項目程度・・・c																																									
	評価項目該当																																									

考査項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【下水道工事】

審査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																			
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																											
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																									
				ばらつきで判断可能																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																									
				ばらつきで判断不可能																																									
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																									
				[共通関係]																																									
				仕様書等で定められている品質管理が実施されている																																									
				材料の品質規格証明書が整備されている																																									
				管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好である																																									
				管等の接合で止水滑材や接着剤、目地モルタル、ゴムリング等のはみ出しが見られず、仕上げも良い																																									
				マンホール等の各部材にはクラックや損傷がなく、足掛金物の位置、方向が適正である																																									
				マンホール等の鉄蓋設置においては、ガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である																																									
				インパートの形状、勾配等が適正で、表面の仕上げが適正である																																									
				管渠施設内に土砂、モルタル、その他材料の断片等がなく清掃されている																																									
				掘削時の土留め方法や、推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られない																																									
				埋戻しにおいて、締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない																																									
				舗装復旧においてその施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差もなく、また舗装切断跡が残っていない																																									
				沿道の事前調査が行われている。事前調査を実施すれば対比できるように整理されている																																									
				縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている																																									
				[開削工事]																																									
				管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる																																									
				締固めを適切な条件で施工されており、管の周辺に空隙が生じていない																																									
				管渠止において止水滑材や接着剤等のはみ出し等がない																																									
				[推進工事]																																									
				管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる																																									
				測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる																																									
				常に切羽及び地表面の状態を観測し施工されていることが確認できる																																									
				推進作業等のデータが確認できる																																									
				地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる																																									
				評価値 (%) = 評価数 () ÷ 評価対象項目数 ()																																									
				●判断基準																																									
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
				50%以下	80%以下	80%を超える																																							
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																						
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																						
60%以上75%未満	b		b'	c	c																																								
60%未満	b'		c	c	c																																								
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																											
				a		b		c		d																																			
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																					
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																											
				管の通りが適切に実施されている																																									
				管とマンホールの接続が丁寧に実施されている（管口の処理等）																																									
				マンホールの据え付けが適切に実施されている																																									
				既設構造物のすりつけが良い（舗装すり付け等）																																									
				仕上げが丁寧に実施されている（インパートの仕上げ等）																																									
				埋め戻し及び路面復旧の状態が良い																																									
				全体的な美観が良い																																									

考察項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

〔記入方法〕 該当する項目の枠に○マークを記入する

【舗装工事】

審査項目	細 別	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																				
			優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																											
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																										
			品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																										
			ばらつきで判断可能																										
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																										
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																										
			品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																										
			ばらつきで判断不可能																										
			上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																										
			[路床・路盤工関係]																										
			設計図書に定められた試験方法で C B R 値を測定していることが確認できる																										
			路床及び路盤工のブルーフローリングを行っている																										
			路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様に満足している																										
			路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる																										
			路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる																										
			路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる																										
			路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工されていることが確認できる																										
			[アスファルト舗装工関係]																										
			アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる																										
			舗装工の施工にあたって、上層路盤工の浮き石などの有害物を除去している																										
			プラント出荷時・現場到着時・舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録している																										
			舗設後、直ちに供用する必要のある現場で、交通開放を適切に行っている																										
			各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上ずらしている																										
			縦目地及び横目次の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足している																										
			気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締固め等）の配慮が行われている																										
			密度管理が設計図書の仕様を満足している																										
			[コンクリート舗装工関係]																										
			コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの規格（強度、W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる																										
			舗装工の施工にあたって、上層路盤工の浮き石などの有害物を除去している																										
			コンクリート受入時に必要な試験を実施しており、強度、スランプ・空気量等が確認できる																										
			圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる																										
			施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている																										
			材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる																										
			チェアー及びダイバーの破損などが発生しないように保管管理が適正に行われている																										
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値（ %）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ） ●判断基準																									
				<table><tr><td rowspan="5">評価値</td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td rowspan="5">ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td>90%以上</td><td>50%以下</td><td>80%以下</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td></tr></table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	90%以上	50%以下	80%以下	75%以上90%未満	a	a'	b	60%以上75%未満	a'	b	b'	60%未満	b	b'	c	
		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																							
			90%以上	50%以下	80%以下																								
			75%以上90%未満	a	a'		b																						
			60%以上75%未満	a'	b		b'																						
60%未満	b		b'	c																									
	注 試験結果の打点数等が少なかつた判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																												
	細 別	評価項目	a	b	c	d																							
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																							
Ⅲ 出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																											
			舗装の平坦性が良い																										
			構造物の通りが良い																										
			端部処理が良い																										
			構造物へのすりつけ等が良い																										
			雨水処理が良い																										
			全体的な美観が良い																										

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【水道工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																															
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																							
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																					
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																					
				ばらつきで判断可能																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																					
				ばらつきで判断不可能																																					
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																					
				仕様書等で定められている品質管理が実施されている																																					
				材料、製品の品質規格証明書が整備されている																																					
				埋戻において、締め固めが適切に行われ、沈下等がみられない																																					
				掘削等にあつては、地形・地質・状況に応じて安全に施工されている																																					
				路盤・舗装等の復旧が仕様書に基づき適正に施工されている																																					
				既設舗装とのすりつけも良く、切断跡が残っていない																																					
				水圧試験により水密性が確認できる（数値が確認できる）																																					
				弁篋等が設計図書どおり操作でき、機能の適正が確認できる																																					
				布設ライン、土被りが確認され、埋設シート等も適正に行われている																																					
				マンホール等内のパルプ、弁類、配管は適切に施工されている																																					
				マンホール等の鉄蓋はガタツキもなく、高さや仕上がりも良い																																					
			マンホール内に土砂、モルタル、材料の断片等がなく清掃されている																																						
			施工の品質・形状が適切で良好な施工である																																						
		評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値（ % ）＝評価数 ）／評価対象項目数（ ） ●判断基準 <table><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">ばらつきで判断可能</th><th rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</th></tr><tr><th>50%以下</th><th>60%以下</th><th>80%を超える</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">評価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></tbody></table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。											ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	60%以下	80%を超える	評価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
			ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																			
			50%以下	60%以下	80%を超える																																				
	評価 値	90%以上	a	a'	b	b																																			
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																			
		60%以上75%未満	b	b'	c	c																																			
		60%未満	b'	c	c	c																																			
		細 別	評価項目	a	b	c	d																																		
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい				他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																	
	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																							
				配管の布設位置も適切で、通りが良い																																					
				既設管との取り合いや配管状況、接合が良い																																					
				弁きょう類のズレもなく、鉛直に立ち上げられ、仕上がり状態が良い																																					
				埋め戻しの状態が良い																																					
				舗装等の平坦性、仕上がりも良く、既設路面とのすり付けも良い																																					
				全体的に仕上がり状態が良い																																					
	評価項目該当 5項目以上・・・a																																								
	評価項目該当 4項目・・・b																																								
	評価項目該当 3項目程度・・・c																																								
	評価項目該当																																								

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【土木維持修繕工事】

考査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																																									
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																																	
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																															
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																															
				ばらつきで判断可能																																															
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																															
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																															
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																															
				ばらつきで判断不可能																																															
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																															
				[土工関係]																																															
				掘削を行うにあたり、過堀がなく掘削面以下を乱さないように施工している																																															
				構造物周辺の埋め戻し、締め固めが適切に施工されている																																															
				法面、段切り等が適切に行われ、有害なクラックや損傷部がない																																															
				盛土工は締め固めが十分で、地山との一体性が確保されている																																															
				施工基面が平滑に仕上げられている																																															
				植生材料は枯損がなく健全で、養生がなされている																																															
				[路床・路盤・アスファルト等関係]																																															
				混合物の温度管理が出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている																																															
				舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている																																															
				目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる																																															
				施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っている																																															
				路床の土質、湧水等の現場状況を適切に調査している																																															
				路盤工の密度管理が適切に行われている																																															
				[材料・製品関係]																																															
				各種の製品、材料等の規格、形状、品質が適正と確認できる																																															
				製品等のかみ合わせ、接続、接合等が適切である																																															
				製品等にクラックや損傷がない																																															
				コンクリート打設、パイプレータ、養生が適切に行われている																																															
				裏込め、埋戻し材が適切で締め固めも十分に間隙が生じていない																																															
				目地材等が適切に施工され止水材や水抜き等も用途に応じて適切に行われている																																															
				樹類は路面となじみも良く、周辺の復旧仕上がりも良い																																															
				蓋類はガタつきもなく、仕上がり高さも適切である																																															
				防護柵、視線誘導標、道路標識等は規定に従い適切に施工されている																																															
				塗装・ケレンが入念に行われているのを確認できる																																															
				塗に残し、気泡、ム等がなく、塗膜に有害な付着物がない																																															
				評価値 (%) = 評価数 () ÷ 評価対象項目数 ()																																															
				●判断基準																																															
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="4">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで 判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>60%以下</td><td>80%を超える</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評 価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td><td></td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td><td></td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td></td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td><td></td></tr></table>											ばらつきで判断可能				ばらつきで 判断不可能			50%以下	60%以下	80%を超える			評 価 値	90%以上	a	a'	b	b		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'		60%以上75%未満	b	b'	c	c		60%未満	b'	c	c	c	
				ばらつきで判断可能				ばらつきで 判断不可能																																											
				50%以下	60%以下	80%を超える																																													
		評 価 値	90%以上	a	a'	b	b																																												
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																												
			60%以上75%未満	b	b'	c	c																																												
			60%未満	b'	c	c	c																																												
				注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																															
				a	b	c	d																																												
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																										
Ⅲ 出来ばえ		●評価対象項目																																																	
				きめ細かな施工がなされている																																															
				構造物の通り、組み合わせ、すり付けも良く目地等の仕上がりも良い																																															
				既設路面、構造物とのすり付けが良い																																															
				雨水処理等が良い																																															
				残土等の処理が適切に行われている																																															
				全体的な美観が良い																																															

考査項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[検1-9]

【植栽工事】

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【防護柵(網)工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																												
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																				
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																		
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																		
				ばらつきで判断可能																																		
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																		
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																		
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																		
				ばらつきで判断不可能																																		
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																		
				防護柵設置要綱等の規定を満足していることが確認できる																																		
				床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工されていることが確認できる																																		
				基礎の施工にあたって無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる																																		
				支柱の施工にあたって既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる																																		
				基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して施工していることが確認できる																																		
				防護柵の支柱の根入れ長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる																																		
				ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力が与えられているのが確認できる																																		
				ガードケーブルの末端支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であるのが確認できる																																		
				材料の品質規格証明書が整備されている																																		
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値 (%) = 評価数 () ÷ 評価対象項目数 () ●判断基準 <table><tr><td rowspan="5">評価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td></tr><tr><td>75%以上80%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。									評価 値	90%以上	a	a'	b	b'	75%以上80%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c					
		評価 値	90%以上	a	a'	b	b'																															
			75%以上80%未満	a'	b	b'	b'																															
			60%以上75%未満	b	b'	c	c																															
			60%未満	b'	c	c	c																															
			細 別	評価項目	a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい	b 仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい	c 他の事項に該当しない場合	d 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																														
Ⅲ 出来ばえ		●評価対象項目																																				
				支柱の通りが良い																																		
				端部処理が良い																																		
				部材表面に傷、錆がない、または補修箇所がない																																		
				既設構造物等とのすりつけが良い																																		
				きめ細やかな施工がなされている																																		
				全体的な美観が良い																																		

考査項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【標識設置工事】

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【区画線工事】

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【塗装工事】

考査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																															
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																							
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																					
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																					
				ばらつきで判断可能																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																					
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																					
				ばらつきで判断不可能																																					
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																					
				塗装作業にあたり、塗装面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる																																					
				ケレンが入念に実施されていることが確認できる																																					
				天候状況の確認、気温及び温度の測定等を行い、塗装作業を行っていることが確認できる																																					
				塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる																																					
				鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる																																					
				塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる																																					
				塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる																																					
				溶接部、ボルトの溶接部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる																																					
				塗料の品質が出荷証明書、塗装成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる																																					
				評価値 (%) = 評価数 () ÷ 評価対象項目数 ()																																					
				●判断基準																																					
				<table><tr><td rowspan="5">評 価 値</td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで 判断不可能</td></tr><tr><td></td><td>50%以下</td><td>60%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>							評 価 値		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能		50%以下	60%以下	80%を超える		90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
		評 価 値		ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																		
				50%以下	60%以下	80%を超える																																			
			90%以上	a	a'	b	b																																		
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b		b'	c	c																																				
60%未満	b'	c	c	c																																					
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																							
				a b c d																																					
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当し ない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																	
	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																							
				塗装面の平坦性、均一性が良い																																					
				細部まできめ細かな施工がされている																																					
				補修箇所がない																																					
				ケレンの施工状況が良好である																																					
				接着状態が良い																																					
				全体的な美観が良い																																					

考査項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【コンクリート橋工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																						
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																						
				ばらつきで判断可能																																						
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																						
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																						
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																						
				ばらつきで判断不可能																																						
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																						
				クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対して有識者の意見に基づく処置を行っている 上記該当項目あれば・・・c																																						
				設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる																																						
				コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる																																						
				コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる																																						
				施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等適切に行っている（寒中及び暑中コンクリート等を含む）																																						
				型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている																																						
				鉄筋の規格がミルシートで確認できる																																						
				鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる																																						
				コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる																																						
				圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている																																						
				スパーの材質が適正で、品質が確認できる																																						
				プレフォーム桁のプレレクション管理が適切に実施されている																																						
				装置（機器）のキャブレションが実施されている																																						
				緊張及びグランド管理が適切に実施されている																																						
				プレストレス時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる																																						
				構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている																																						
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値（ % ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ） ●判断基準																																						
				<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td rowspan="2">ばらつきで 判断不可能</td></tr><tr><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td></tr><tr><td rowspan="4">評価 値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価 値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで 判断不可能																																			
	50%以下			80%以下	80%を超える																																					
	評価 値	90%以上	a	a'	b	b																																				
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
		60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
		60%未満	b'	c	c	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																								
	細 別	評価項目	a	b	c	d																																				
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																				
Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																									
			コンクリート構造物の表面状態が良い																																							
			コンクリート構造物の通りが良い																																							
			天端仕上げ、端部仕上げ等が良い																																							
			クラックがない																																							
			支承部の仕上げが良い																																							
			全体的な美観が良い																																							
評価項目該当 5項目以上・・・a																																										
評価項目該当 4項目・・・b																																										
評価項目該当 3項目程度・・・c																																										
評価項目該当																																										

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【鋼橋工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																			
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																											
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																									
				ばらつきで判断可能																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																									
				ばらつきで判断不可能																																									
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																									
				[工場製作関係]																																									
				鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合している																																									
				溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている																																									
				溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足している																																									
				溶接施工に係る施工計画書が提出されている																																									
				孔空けによって生じたまくれが削り取られるなど、きめ細かに製作されている																																									
				欠損部の発生が見られないことが確認できる																																									
				塗装作業にあたり、塗装面を十分乾燥させて施工している																																									
				素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる																																									
				塗料の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる																																									
				塗装の品質が出荷証明書、塗装成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる																																									
				その他（ ）																																									
				[架設関係]																																									
				ボルトの締付確認が実施され、適切に記録保管されている																																									
				ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施している																																									
				高圧ボルトの締め付けを中心から外側に向かって行っている																																									
				高圧ボルトの品質が、証明書類で確認できる																																									
				支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切り勾配がついている																																									
				架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる																																									
				架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有して確認している																																									
				現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っている																																									
				現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っている																																									
				その他（ ）																																									
				評価値（ % ）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ）																																									
				●判断基準																																									
				<table><tr><td colspan="2"></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
				50%以下	80%以下	80%を超える																																							
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																						
	75%以上90%未満		a'	b	b'	b'																																							
	60%以上75%未満		b	b'	c	c																																							
60%未満	b'		c	c	c																																								
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。																																											
	細 別	評価項目	a		b		c		d																																				
仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																								
Ⅲ 出来ばえ		●評価対象項目																																											
				表面に補修箇所がない																																									
				部材表面に傷、錆がない																																									
				溶接に均一性がある																																									
				塗装に均一性がある																																									
				全体的な美観が良い																																									
評価項目該当 4項目以上・・・a																																													
評価項目該当 3項目・・・b																																													
評価項目該当 2項目程度・・・c																																													
評価項目該当																																													

考査項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

【記入方法】評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【法面工事】

審査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																				
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																				
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																												
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																										
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																										
				ばらつきで判断可能																																										
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 50%程度以内である																																										
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 80%程度以内である																																										
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 80%を超える																																										
				ばらつきで判断不可能																																										
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																										
				[共通関係]																																										
				施工基面を平滑に仕上っている(特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付工関係)																																										
				施工に際して、品質の害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工している																																										
				盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないように締固めを十分行っている																																										
				雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している																																										
				[種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係]																																										
				土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる																																										
				ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる																																										
				ネットなどが破損を生じていないことが確認できる																																										
				吹付け厚が均等である																																										
				使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足している																																										
				施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる																																										
				[コンクリート又はモルタル吹付工関係]																																										
				使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足している																																										
				金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる																																										
				金網が破損を生じていないことが確認できる																																										
				吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる																																										
				吹付け厚さが均等であることが確認できる																																										
				吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる																																										
				強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる																																										
				不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる																																										
				法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる																																										
				[現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)]																																										
				使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる																																										
				アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる																																										
				現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる																																										
				強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる																																										
				枠内に隙間が無いことが確認できる																																										
				層間にはく離が無いことが確認できる																																										
				不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる																																										
				評価項目該当 3項目以下・・・c		評価値()%＝評価数()／評価対象項目数()																																								
						●判断基準																																								
						<table><tr><td></td><td></td><td colspan="4">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>60%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b'</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>									ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能			50%以下	60%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b'	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能																																						
				50%以下	60%以下	80%を超える																																								
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																							
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
			60%以上75%未満	b'	b'	c	c																																							
			60%未満	b'	c	c	c																																							
						注 試験結果の打点数等が少なかつた場合は判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																								
				細 別	評価項目	a	b	c	d																																					
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																							
		Ⅲ 出来ばえ																																												
		●評価対象項目																																												
				植生、吹き付け等の状態が均一である																																										
				規定された勾配が確保されている																																										
				通りが良い																																										
				端部処理が良い																																										
				構造物へのすりつけ等が良い																																										
				全体的な美観が良い																																										

考察項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

契約番号:

工事成績採点の審査項目別運用表

[検1-17]

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【ほ場整備工事】

審査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																																		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																										
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																								
				ばらつきで判断可能																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																								
				ばらつきで判断不可能																																								
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																								
				表土扱い土が適切に管理されている																																								
				道路・水路・畦畔等の締め固めが適切に施工されている																																								
				構造物周辺の埋め戻し、締め固めが適切に施工されている																																								
				法面に有害なクラックや損傷部がない																																								
				排水路の深さ、勾配等が適切に施工されている																																								
				田面等に耕作に有害な石礫等がない																																								
				盛土高さが大きく、又は水路埋立箇所など沈下が予想される箇所について特に入念に施工されている																																								
				表土扱い土の厚さが確保されている																																								
				敷砂利の厚さが確保されている																																								
			コンクリート構造物に、きめ細やかな施工がうかがえる																																									
		評価項目該当3項目以下・・・c	評価値(%) = 評価数() / 評価対象項目数() ●判断基準 <table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>60%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table> 注 試験結果の打点数等が少なすぎる場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	60%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
			50%以下	60%以下	80%を超える																																							
	評価値	90%以上	a	a'	b	b																																						
		75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																						
		60%以上75%未満	b	b'	c	c																																						
		60%未満	b'	c	c	c																																						
		細 別	評価項目	a	b	c	d																																					
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																					
Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																											
			表土に雑物が無く、均平に仕上げられている																																									
			畦畔の仕上げが良い																																									
			道路等の路面や法面の仕上げが良い																																									
			導水路と構造物の仕上げが良い																																									
			水路・構造物の通りが良い																																									
			全体的な美観が良い																																									
	評価項目該当5項目以上・・・a																																											
	評価項目該当4項目・・・b																																											
	評価項目該当3項目程度・・・c																																											
	評価項目該当																																											

考察項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【暗渠排水工事】

考査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている			
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ 品質	●評価対象項目		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った									
			上記該当項目あれば・・・e										
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された									
			上記該当項目あれば・・・d										
				ばらつきで判断可能									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える									
				ばらつきで判断不可能									
			上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと										
				管路の接続が適切に施工されている									
				吸水渠、集水渠等の埋設深管理が適切に施工されている									
				軟弱地盤等で暗渠排水工の効果が阻害される恐れのある箇所について、阻害防止の工夫が措置されている									
				被覆材が管路を中心に適切に施工されている									
				溝底部が凹凸蛇行のないよう施工されている									
				水コウ及び集水渠等の埋め戻しが入念に施工されている									
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値 (%) = 評価数 () ÷ 評価対象項目数 ()									
				●判断基準									
				評 価 値	90%以上		a	a'	b	b'			
					75%以上90%未満		a'	b	b'	b'			
					60%以上75%未満		b	b'	c	c			
					60%未満		b'	c	c	c			
				注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。									
				細 別	評価 項目	a		b		c		d	
						仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い			
				Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目			吸水渠及び集水渠等の通りが良い					
			田面復旧の状態が良い										
			畦畔及び排水路提塘復旧の状態が良い										
排水路への接続にきめ細やかな施工がされている													
全体的な美観が良い													
評価項目該当 4項目以上・・・a	評価項目該当 3項目・・・b	評価項目該当 2項目程度・・・c	評価項目該当										

考察項目	細別	評価
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【用排水路工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている																																		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																										
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																								
				ばらつきで判断可能																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 5 0 %程度以内である																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %程度以内である																																								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね 8 0 %を超える																																								
				ばらつきで判断不可能																																								
				上記 2 項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																								
				用・排水路の縦断勾配が、ほ場面標高等を考慮して施工されている																																								
				地盤面、施工基面に不陸がなく、平滑に仕上げられている																																								
				湧水、滞水処理等が適切に行われている																																								
				製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、巻出し、転圧が適切に施工されている																																								
				製品に有害なひび割れ、損傷等の欠点がない																																								
				呑口、吐口、集水桝等の取り付けコンクリートにクラック等の欠陥がない																																								
				製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている																																								
				2 次製品の吊り込み、据え付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる																																								
			評価項目該当 3項目以下・・・o	評価値 (%) = 評価数 () / 評価対象項目数 () ●判断基準																																								
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>										ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
				50%以下	80%以下	80%を超える																																						
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																					
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
			60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
			60%未満	b'	c	c	c																																					
				注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																								
			細 別	評価項目		a	b	c	d																																			
						仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																		
Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																											
				構造物の通りが良い																																								
				目地の仕上げが良い																																								
				桝等の小型構造物にきめ細やかな施工がされている																																								
				土工関係の仕上げが良い																																								
				全体的な美観が良い																																								
	評価項目該当 4項目以上・・・a																																											
	評価項目該当 3項目・・・b																																											
	評価項目該当 2項目程度・・・c																																											
	評価項目該当																																											

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【オーバーレイ工事】

審査項目	細 別	評価 対象 項目	評価 項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている			
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ 品質	●評価対象項目		品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d									
				ばらつきで判断可能									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である									
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える									
				ばらつきで判断不可能									
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと									
				アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる									
				プラント出荷時・現場到着時・舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録している									
				舗装の各層の継ぎ目が仕様書に定められた数値以上ずらしている									
				気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締固め等）の配慮が行われている									
				コア採取により、厚さ・密度の管理が適切に行われている。									
				舗設後、直ちに供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている									
			評価項目該当 3項目以下・・・c	評価値（ %）＝評価数（ ）／評価対象項目数（ ） ●判断基準									
					50%以下				80%以下		80%を超える		ばらつきで 判断不可能
			評価 値	90%以上	a	a'	b	b'					
				75%以上90%未満	a'	b	b'	c					
				60%以上75%未満	b	b'	c	c					
	60%未満	b'		c	c	c							
	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。												
		細 別		評価 項目	a 仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		b 他の事項に該当しない場合		c 仕上げが悪く、全体的に美観が悪い				
	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目		舗装の平坦性が良い									
				端部処理が良い									
				構造物へのすりつけ等が良い									
			雨水処理が良い										
			全体的な美観が良い										
評価項目該当 4項目以上・・・a													
評価項目該当 3項目・・・b													
評価項目該当 2項目程度・・・c													
評価項目該当													

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[記入方法] 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【管路補修工事】

考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a 優れている	a' bより優れている	b やや優れている	b' cより優れている	c 他に該当なし	d やや劣っている	e 劣っている		
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目										
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e								
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d								
				ばらつきで判断可能								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である								
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える								
				ばらつきで判断不可能								
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと								
				既設管内の布設状況、障害物及び漏水等の事前調査を十分に行って施工している								
				事前処理により、施工時に支障のないよう適切な措置を施している								
				硬化性樹脂材を使用する場合、硬化時の時間及び温度管理が適切に行われている								
				製管材を使用する場合、裏込め材の注入量の記録管理が適切に行われている								
				仕上り管体内部に膨れ、シワ、破損等がなく基準を満足している								
				施設内に漏水がない								
				施工後の管内に、土砂・汚物等の堆積等がない								
				材料の品質規格証明書が整備されている								
		評価項目該当 3項目以下・・・o		評価値(%)＝評価数()／評価対象項目数() ●判断基準								
						ばらつきで判断可能				ばらつきで判断不可能		
		評価値		90%以上	a	a'	b	b'				
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'					
			60%以上75%未満	b	b'	c	c					
			60%未満	b'	c	c	c					
	注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。											
		細 別	評価項目		a	b	c	d				
					仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい			他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い		
	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目										
評価項目該当 4項目以上・・・a				管渠施設内面の仕上げが良い								
				管渠施設の通りが良い								
評価項目該当 3項目・・・b				施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる								
				既設構造物とのすりあわせが良い								
評価項目該当 2項目程度・・・c				全体的な美観が良い								
	評価項目該当											

考査項目	細別	評定
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

[検1-24]

【解体工事】

考察項目	細別	評定
3. 出来形 及び出来ば え	Ⅱ. 品質	
	Ⅰ. 出来ばえ	

契約番号：

工事成績採点の考査項目別運用表

[検1-25]

【記入方法】 評価対象項目は左枠に○マーク、評価項目は右枠に○マークを記入する

【合併工事】

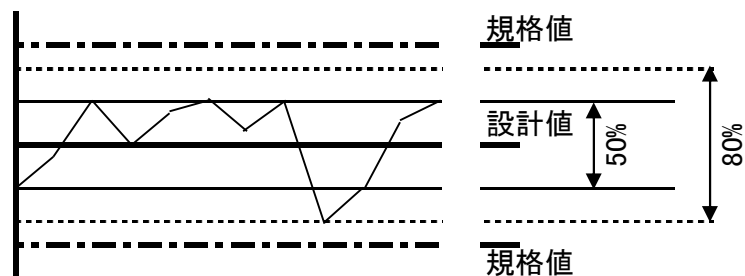
考査項目	細 別	評価対象項目	評価項目	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
				優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他に該当なし	やや劣っている	劣っている																																	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ 品質	●評価対象項目																																									
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った 上記該当項目あれば・・・e																																							
				品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が指示を行い改善された 上記該当項目あれば・・・d																																							
				ばらつきで判断可能																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね50%程度以内である																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%程度以内である																																							
				品質関係の試験結果のばらつきが規格値の概ね80%を超える																																							
				ばらつきで判断不可能																																							
				上記2項目の評価後、以下の項目について評価のこと																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判定ができない場合は評価対象項目だけを評価する																																							
				※最大考査項目は8項目とし、5項目以上ピックアップできないときは、C評価とする。																																							
				評価値(%) = 評価数() / 評価対象項目数()																																							
				●判断基準																																							
				<table><tr><td></td><td></td><td colspan="3">ばらつきで判断可能</td><td>ばらつきで判断不可能</td></tr><tr><td></td><td></td><td>50%以下</td><td>80%以下</td><td>80%を超える</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">評価値</td><td>90%以上</td><td>a</td><td>a'</td><td>b</td><td>b</td></tr><tr><td>75%以上90%未満</td><td>a'</td><td>b</td><td>b'</td><td>b'</td></tr><tr><td>60%以上75%未満</td><td>b</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td></tr><tr><td>60%未満</td><td>b'</td><td>c</td><td>c</td><td>c</td></tr></table>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能			50%以下	80%以下	80%を超える		評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
				ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
				50%以下	80%以下	80%を超える																																					
		評価値	90%以上	a	a'	b	b																																				
			75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
			60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
			60%未満	b'	c	c	c																																				
		注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																									
				a	b	c	d																																				
				仕上げがきめ細かく、全体的に美観がよい		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い																																			
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	●評価対象項目																																									
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				理由：																																							
				※該当工種からの考査事項で考査し、最大考査項目は5項目とする。																																							

考査項目	細別	評価
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	
	Ⅲ. 出来ばえ	

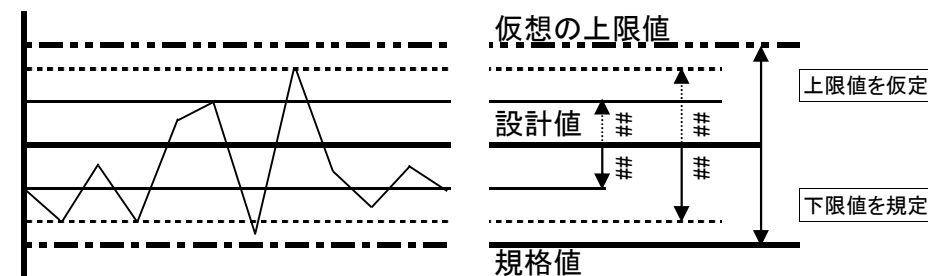
【記入方法及び留意事項】

1 出来形及び品質のばらつきの考え方 〔管理図の場合〕

〔上・下限値がある場合〕

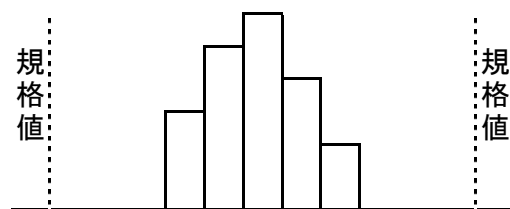


〔下限値のみの場合〕

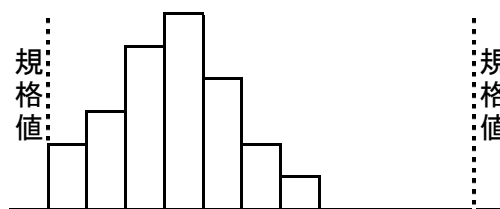


※上限値のない場合の考え方は、下限値と同様な値があるものと仮定し、ばらつきの%を考慮する。

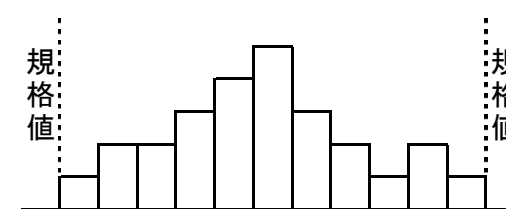
〔度数表または、ヒストグラムの場合〕
〔ばらつきが少ない〕



〔ばらついている〕



〔ばらつきが大きい〕



2 多工種複合工事の取り扱い

- (1)主たる工種で評定する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
- (2)コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。

3 コンクリート構造物のクラックについて

- (1)クラックが発生した構造物では「進行性または有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置をしている」等が見られたら、c評価とする。
- (2)「進行性または有害なクラックがある」場合、無処理の場合は、状況に応じて、dまたはe評価とする。

4 その他

受領時における施工プロセスチェック・施工体制チェック表を活用して、評定を行うこと。

「4. 工事特性」「5. 創意工夫」「6. 社会性等」は、請負者から提出された実施状況に関する書類を活用して、評定を行うこと。